

3類型	鉱工業品	通巻番号	2-25-011
地域資源名	日本酒	認定日	平成25年10月16日
地域	山形県鶴岡市	所管省庁	財務省、経済産業省

事業名: 米処山形県庄内平野での地酒酒粕利用チョコレート等の菓子類の商品開発とブランド化

会社名: 有限会社木村屋

所在地: 山形県鶴岡市山王町9-25

連絡先: TEL 0235-22-4530

URL: <http://www.kimuraya.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

・山形県庄内平野は個性豊かな酒蔵が点在し、その土地ならではの気候風土・文化を生かした銘酒を育てている県内でも有数の酒どころである。本事業は、日本酒の生産時に産出される酒粕を活用する。具体的には当社が持つペースト化加工技術により発酵臭を抑えた酒粕をチョコレート等の菓子類に用いることで、コクや食感など改良を図った製品の開発・販売を行う。また併せて酒粕ペーストの販売も行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・近年、消費者が最も好む味覚の嗜好として「コク」があげられている。本事業で使用する酒粕は、発酵臭を抑えたすっきりとした新酒 & 大吟醸酒の板粕を用いる。このことで、リンゴやバナナを思わせるフルーティーな酒の香りと本来チョコレートが持つ芳醇な香りの双方を特徴とするチョコレートに仕上がっている。
- ・従来利用が困難であった搾りたての新酒の板粕をペースト状に加工する技術を開発したことで、発酵臭を抑えた酒粕として製品に使用することが可能となり、従来の酒粕を用いた製品と差別化を図ることができる。

◆市場性

- ・本事業では贈答市場向けに製品の販売を行っていく。贈答市場において菓子類が占める割合は2010年には35.2%まで上昇しており、日常的な贈り物として菓子類が選ばれやすい傾向にある。
- ・菓子類の中でもチョコレートの消費支出金額は増加傾向にあり、平成2年と平成23年を比較すると約1.4倍に増えており、今後も市場が拡大していくと考えられる。

◆販路

- ・菓子類については当社の既存の販売チャネルである首都圏百貨店、通信販売、土産物店に向けて販路開拓を行う。
- ・また、新酒板粕ペーストについては食品展示会等に出展し、飲食店向けの販路開拓を行う。

地域資源における関係事業者との連携

- ・当地域の酒造メーカーと連携を図り、本事業に必要な新酒の酒粕の確保を図る。新酒板粕ペーストについては酒造メーカーと連携して販売を行う。



一般的な酒粕



新酒板粕ペースト



酒粕を利用したチョコレート